

おめでとーございます
秋の叙勲受章

瑞宝単光章

佐藤良夫さん

(70歳・中野)



佐藤さんは、昭和43年に市消防団に入団し、第一分団長で退団するまで48年にわたり火災、水害などから市民の生命や財産を守るため尽力しました。

(受章者コメント)

このような章をいただいて驚いています。多くの人に支えられて消防団員を務めあげることができました。

非常時に身を守るために

磯部小・中学校合同防災訓練

11月15日、磯部小学校・中学校の合同による防災訓練が行われ、児童や生徒、地域の住民ら約100人が参加しました。防災訓練は、震度6弱の地震発生を想定。

小・中学校からのそれぞれの避難方法や経路を確認し、生徒は狐穴井戸端長屋の入居者の避難誘導の方法などを訓練しました。

また、磯部中学校の調理室



で生徒らは、水道・ガスが使えないという想定のもとで、保存水やカセットコンロを使用するなどの炊き出し訓練を行い、知恵を出し合いながら調理しました。

児童らは、災害が起こった場合に危険となる個所を自ら歩いて確認し、どのようにすれば安全を確保できるかを話し合いました。

夕方には、小学校から保護者への児童の引き渡し訓練も行われ、1日を通して磯部地区の子どもと住民の防災への意識を高めることができました。

子育て環境の向上を願って
放課後児童クラブ施設建設
安全祈願祭



飯豊小学校放課後児童クラブ建設工事の安全祈願祭は11月22日、同小学校地内で行われ、行政区長ら関係者約30人が参加し、施設建設の安全を祈願しました。

同施設は、木造平屋建てで事務室と放課後児童クラブ室を有し、平成30年度中の完成を目指して建設が進められます。

東北大会の受賞報告

相馬高校太鼓部

市芸術文化奨励金交付式は11月26日、市役所で行われ、東北大会に出場した相馬高等学校太鼓部の部員らが堀川利夫教育長に大会結果を報告しました。

太鼓部を代表し、村岡さやかさんが東北大会での特別賞の受賞報告を行いました。

報告を受けた堀川教育長は「受賞おめでとう。今後も自分たちの力を発揮して、さまざまな場所で頑張ってください」と述べました。



高齢者の移動がさらに便利に

おでかけミニバス

おでかけミニバス運行拡充
セレモニ―は11月26日、市役所御仕法通りで開かれ、関係者ら30人が出席しました。



式では、立谷市長が「高齢

者の方の生活が便利になるように有効活用していただきたい」とあいさつし、運転をお願いしているタクシー利用促進協議会の平澤貞昭会長に立谷市長からミニバスのカギが手渡されました。

立谷市長と新規ルートの検討を行った老人クラブ連合会の伊東通夫会長ら5人がミニバスルート拡充を祝いました。

拡充ルートの運行は、12月3日から開始されています。

百歳おめでとう 高玉トミさん



百歳を迎えた高玉トミさん（山上）への賀寿贈呈式は11月30日、自宅で開かれ、トミさんに記念品などが手渡されました。

トミさんの長寿の秘訣はたくさん食べることや、しりとりなどで頭をつかうことです。

仲間とつなぐ一投一打 女子ソフトボール大会



齋藤春香杯第3回東北小学
生女子ソフトボール大会は11月24日、相馬光陽ソフトボール場で開かれ熱戦が繰り広げられました。

同杯は、ソフトボールを通して親睦と交流を図るとともに、開催地である相双地域の人に元気を与えることを目的に開催されました。

大会には県内外あわせ、16チームが参加。

選手たちは、澄んだ秋空の中、チームメイトを盛り上げながら精一杯プレーしていました。

農業の未来を見据えて 意見書提出



前川正人市農業委員会会長ら3人は11月16日、市役所を訪れ、立谷市長に農地等利用最適化推進施策に関する意見書を手渡しました。

今回の意見書は、農業生産基盤の整備、有害鳥獣対策の強化、農業の担い手の育成・支援、農業経営の安定化などについて提出されました。

意見書を受け取った立谷市長は「農業のあり方などを総合的に考えなければならぬ。県や国と相談しながら進めていきます」と述べました。

青少年健全育成表彰



れ、受賞者3人が堀川利夫教育長に報告しました。

報告に訪れたのは、県青少年健全育成条例第13条に基づき知事表彰を受けた鈴木麗子さん、白樫邦子さん、県青少年育成県民会議会長表彰を受けた丹野吉男さんの3人。

鈴木さんらは市少年センター補導員として、日ごろから青少年の健全育成と非行防止のために長年活動してきた功績をたたえられ、今回の表彰を受賞しました。

県青少年育成表彰の受賞報告は11月27日、市役所で行わ

信子さまご視察

そうまIHグリーンエネルギーセンター



寛仁親王妃信子さまは11月21日、光陽地区のそうまIHグリーンエネルギーセンターを視察されました。

株式会社IHの石戸利典顧問エグゼクティブ・フェロー、国貞寛執行役員ソリューション・新事業統括本部長、宇佐見清市企画政策部長らが、事業や施設の概要を説明。

信子さまは、地域エネルギーマネジメント管理棟や水素製造研究設備などを視察され、時折質問をされるなど興味深げに聞いていました。

そうまIHグリーンエネルギーセンターは、「水素を活用した二酸化炭素フリーの循環型社会創り」をキーワードに、持続性のある地産地消型スマートコミュニティの構

築と水素社会に向けた実証研究の場を目指し、IHと市が共同で取り組みを進めているものです。

親子の絆を深める
みんなで子育て
ワイワイショップ

みんなで子育てワイワイショップは11月18日、総合福祉センター（はまなす館）で開かれ、親子連れ約330人が訪れ、イベントを楽しみました。

このイベントは、県の「子育て支援を進める県民運動」に合わせて、親子の絆を深めるために毎年開催しているものです。

会場では、親子で踊って体を動かす「みんなでヒップホップ」や「お店屋さんで遊ぼう」などが催され、訪れた親子は、協力しながらイベントに参加していました。

浦ほたるイルミネーション

オープニングイベント



ンが披露されたほか、シンガーソングライターのLOVE Eさんによるミニライブが行われました。

参加者らは、30分ごとに色が変わるペットボトルを見つめながらイベントを楽しんでいました。

イルミネーション「浦ほたる」のオープニングイベントは12月3日、笠岩公園内で行われ、子どもたちをはじめ多くの地区住民が訪れました。

当イベントは、被災した地区の復興と地域の魅力向上によるにぎわい創出などを目的に、市青年団体連絡会が実施約2,000個の太陽光発電パネル付きLEDライト「ペットボトル」を飾り付けたオブジェのイルミネーション



全国大会を勝ち抜く スポーツ大会出場報告



全国スポーツ大会出場報告は12月3日、市役所で行われ、第31回全国ラジボール卓球大会に出場した選手が堀川利夫教育長に報告しました。訪れた選手は、第31回全国ラジボール卓球選手権大会に出場し、見事第3位となった佐藤喜代司さん。報告を受けた堀川教育長は、「これからも健康に気を付けて続けていただき、後進の育成にも尽力ください」とあいさつしました。

熱戦を展開 相馬松川浦カップ



2018相馬松川浦カップ全国PG選手権大会は12月1日、2日相馬光陽パークゴルフ場で開催されました。市と市教育委員会、市パークゴルフ大会実行委員会の主催。北海道、東北、関東などあわせて480人が出場しました。競技は、本丸A・B・C、二の丸A・B、三の丸A・B、大手門A・Bの9コース、81ホールストロークプレーで行われ、参加者たちは2日間に渡り熱戦を展開しました。

ペットボトルのクリスマスツリー



「ペットボトルでビックツリーを作ろう」は12月8日、相馬愛育園で開催され、日ごる当園を利用していらっしゃる方など約50人が参加し、ペットボトルに色付けして、約3メートルの高さのツリーに飾り付けをしました。当日はツリー作りのほかに、クリスマスカードの制作などが行われ、参加者は一足早い



クリスマスを楽しみました。完成したクリスマスツリーは、夕方になると、赤、青、緑などの光に照らされ一段と輝きを増します。

子どもたちに夢を スポーツ笑顔の教室



訪れた夢先生は、Jリーグで活躍した元サッカー選手の鈴木慎吾先生。体育館で体を動かす「ゲームの時間」で、参加した児童らは、夢先生と一緒にお互いの意見を尊重し、励ましあいながら楽しく体を動かしました。夢先生の自己紹介を含め夢を持つことの大切さを伝える「夢トーク」の時間では、これまでのサッカー競技における人生の中で、サッカーをやめたくなった時も、現状を変えるためにはどうするかを常



に考えて行動し、努力を続けたことで乗り切ったこと、夢を持つことの大切さを子どもたちに伝えました。

スポーツ笑顔の教室は12月6日、磯部小学校の5・6年生12人を対象に開催されまし